

## 通期の課題と見通し

### IT活用ニーズが高まる

今後の経済状況につきましては、設備投資の増加、個人消費の回復が見込まれ、国内景気は引き続き堅調に推移するものと予想されます。但し、原油価格のさらなる高騰が企業業績に悪影響を与えることには引き続き留意する必要があります。

こうした中で経営強化や生き残りのためにITを活用することは、企業規模の大小や業種業態を問わず不可欠な状況となっており、新たに創設された「情報基盤強化税制」が企業のIT投資を税制面で後押しすることが期待されています。また金融商品取引法(日本版SOX法)の施行に伴い内部統制の強化が企業経営における重要課題となり、この分野においてもIT活用ニーズがより具体的に高まることが予想されます。

当社グループは、今後もこのようなお客様の経営課題を解決するために、総合力を活かした複合システム提案やワンストップソリューションの提供により既存のお客様との取引拡大と新規顧客開拓に努め、引き続き成長力と収益力の向上を図ってまいります。

### 業績見通し

以上により、通期の連結業績見通しといたしましては、2006年2月2日に発表した通期の業績予想を修正し、売上高4,329億円(前年同期比5.7%増)、営業利益247億50百万円(前年同期比13.0%増)、経常利益250億円(前年同期比12.6%増)、当期純利益142億50百万円(前年同期比21.3%増)を計画しております。セグメント別の売上高では、システムインテグレーション事業が2,661億50百万円(前年同期比3.0%増)、サービス&サポート事業が1,648億50百万円(前年同期比10.6%増)、その他の事業が19億円(前年同期比6.7%減)を計画しております。

#### 売上高・利益計画

(単位:百万円)

	2005年12月期	2006年12月期 (計画)	
	金額	金額	増減率
売上高	409,413	<b>432,900</b>	+5.7%
営業利益	21,911	<b>24,750</b>	+13.0%
経常利益	22,210	<b>25,000</b>	+12.6%
当期純利益	11,747	<b>14,250</b>	+21.3%

#### セグメント別売上高計画

(単位:百万円)

	2005年12月期	2006年12月期 (計画)	
	金額	金額	増減率
システム インテグレーション事業	258,275	<b>266,150</b>	+3.0%
サービス&サポート事業	149,100	<b>164,850</b>	+10.6%
その他の事業	2,037	<b>1,900</b>	-6.7%